

金型温度調節機 (MC5型) 保守点検要領

温度調節

MC5

改善
提案
品

乾燥

輸送

温度調節

配合

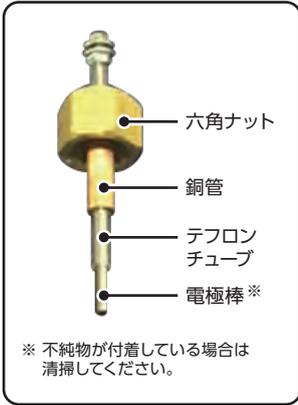
粉碎

技術資料

メンテナンス

7 フロートレススイッチ (L,Hタイプ)

清掃: 3ヵ月毎



2 配管継手など

確認: 毎日

9 端子

点検: 3ヵ月毎

10 ボルト・ナット

点検: 3ヵ月毎

水ぬれ厳禁



3 温度コントローラ

確認: 毎日

8 SSR (ソリッドステート・リレー)

点検: 3ヵ月毎

1 圧力計

確認: 毎日



4 給水ストレーナ

清掃: 1週間毎

5 媒体 (ボールバルブ)

点検: 1ヵ月毎

保守点検箇所	点検の目安	作業内容	注意事項
① 圧力計	毎日	ポンプ圧力が変化していないか、または針が0.5MPa以上に振れていないかを点検。	●異常を発見した場合は、装置を止めてください。
② 配管継手など		水、油の漏れ確認。	●漏れ確認は装置だけでなく、ホース、配管継手、金型側のカブラなども点検してください。 ●漏れている場合は、増締し、それでも止まらない場合は部品を交換してください。
③ 温度コントローラ		媒体温度が温度コントローラで設定した温度で制御されているか確認。	
④ 給水ストレーナ	1週間毎	貴社設備の給水源バルブを閉じた後、プラグを外し、ストレーナの清掃。	
⑤ 媒体(水タイプ) (L、Hタイプ)	1か月毎	ボールバルブから適量の媒体(水)を収集し、汚れ具合を点検。	●汚れがひどい場合は、ドレン口(媒体タンク下部)に捕集容器をセットして媒体を排出し、交換してください。
⑥ ホース		継手金具付近などから媒体が漏れていないか、または変形(つぶれたり、膨れたり)、外傷、ひび割れ、摩耗や異常に硬化していないかを点検。	●傷による媒体漏れが発生している場合は、ホースを交換してください。 ●点検時異常が発見された場合は、すみやかに交換してください。 ●各ホースともに、それ以下の温度で使用される場合も、1年以内(テフロンホースは1.5年以内)を目安で交換してください。 ※使用可能温度は下記のようになっています。 L、LL用ゴムホース(温水専用):95℃ H用ゴムホース(温水用):120℃ テフロングレードホース(高温水、油用):200℃
⑦ フロートレス スイッチ (L、Hタイプ)	3か月毎	フロートレススイッチ上部の六角ナットを取り外し電極棒およびテフロンチューブの汚れ具合を点検。不純物が付着している場合は、清掃。	
⑧ SSR (ソリッドステート リレー)		装置の電源ブレーカをオン(電源ランプ点灯)にした状態で、運転スイッチをオフにし、クランプメータを使用してヒータ回路の電流を測定。	●左記の状態ヒータコンタクトが正常ですとヒータ回路への電流は流れていません。ヒータ回路へ電流が流れている場合は、SSRが故障していますので交換してください。
⑨ 端子		装置の天板を外し、制御パネル扉を開けてから、制御盤内および装置内電気機器の配線接続部のゆるみを確認。	●点検は装置を停止させた後、必ず側面の電源ブレーカをオフしてからおこなってください。
⑩ ボルト・ナット		各所のボルト・ナット類のゆるみを確認。ゆるみがある場合、増締をおこなう。	

※安全のため、点検作業時には機械の電源は必ず切ってください。
※運転中および停止直後は高温になっており、非常に危険です。